

中広中学校だより

平成23年4月13日(水) NO1

校訓・・・清純・平和・希望

学校教育目標・・・「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

入学・進級おめでとう

4月6日(水)、中広中学校では、平成23年度の入学式を行いました。新1年生は男子111名、女子91名、合計202名の6クラス、2年生は男子91名、女子105名、合計196名、3年生は男子116名、女子95名、合計211名、全校では男子318名、女子291名、合計609名となりました。昨年同期で612名であったことから、ほぼ現状維持という状況です。また、中広中学校は本年度新しく「通級指導教室」(詳細は別記参照)ができました。

現在、正門で朝のあいさつを行っていますが、1年生は本当に「ピカピカの1年生」といわれるように、中学校へ入学してのやる気と意欲・意気込みが返ってくる返事からも伺えます。

2年生は、いよいよ中堅の学年として中広中学校を担う学年となります。中学校の3年間で精神的にも、体の成長においても最も大きく伸びる時期です。悔いの残らない充実した学年にしてほしいと思います。早速、5月には修学旅行という大きな行事が控えています。

3年生は進路実現の学年です。1年は早いです。新学期が始まって、既に1週間がたとうとしています。ちなみに、昨年度の3年生の1年間の登校日数は195日でした。もう190日は切ってしまったということです。まさに「光陰矢のごとし」を肝に銘じて1日1日を過ごしてほしいと思います。先日の学年初めの集会では、「惜しまれる3年生になろう!」という話をしました。3年生には期待することが多い中で、是非、来年3月の卒業式において、後輩や地域・先生方から「もっといてほしい」と思わせる3年生であってほしいと願っています。

いずれの学年もなにはさておいても、「安全・健康」を第一に学校生活を送って下さい。こうしている今現在も、東北の震災地では、まだ多くの小中学生の行方がわからないという痛ましい現実があります。1日も早い復興を祈念したいと思います。

□ 通級指導教室を開級します

この教室には、情緒面に配慮を要し、特別な支援が必要とされる生徒が他校からも通ってきます。本校は広島市内で中学校としては、平成21年度に設置、開級された段原中学校について2校目の開級となります。場所は、1号館の3階です。担当は 恵柳京子 教諭です。

これまでの **自分を変え、自信が持てる！ 10時間勉強に挑戦** しよう！

「余の辞書に不可能は無い」といったのは、ナポレオンです。あなたの辞書には「勉強ができない」「勉強は苦手」「勉強はしたくない」「勉強はできることなら避けて通りたい」といった文字はありませんか？人は誰でもやったことがない、したことがない、経験がないことについては、「自分ではできない」と決め付

(裏面に続く ⇒)



(今年の正門の桜 ↑)

けてしまいやすいものです。しかし一方で、勉強しないで偉くなった人は古今東西どこにもいません。ここで言う「偉い」は、別に学者や研究者になることを言うものではありません。いつの日か、教育機関である学校・大学などを卒業して社会に出て、責任ある仕事をこなし、収入を得て自分で生活していく能力を持つことを指しています。特に中学3年生時の進路決定では、誰もがそれまで経験したことの少ない量の「勉強」をしなければなりません。そうなる前に慌てふためくことがないように、少しずつ準備をしておきましょう。「1日10時間勉強」の挑戦もそのひとつです。やればできるのに、先延ばしして自信を失っていく人がいることは、大変残念なことです。

進路決定の重要な人生の最初の岐路に、自分は1日に10時間の学習をやったんだという実績と自信を持っている人と、いまだかつてやった経験がない人と、どちらが卒業前の土壇場で踏ん張れるかは明らかです。スポーツの世界同様に、実績と経験・自信を持って自らを鍛えた人が、栄冠を手にすることができるのです。

認定の方法は簡単です。1日10時間勉強を達成した人は、保護者に生徒手帳か生活ノートなどに「〇月〇日（〇曜日）に〇〇時間勉強しました」と書いて、**印**か**サイ****ン**をもらって担任の先生か校長室へ直接持参して下さい。残らず全員に認定証を渡します。



中広中学校のめざす教育

例年、年度初めに学校の教育目標をお知らせしています。詳細は裏面をご覧ください。今回は構想図として、パッと見て分かり易くしてみました。

作成の経過について説明します。学校経営経計画の策定については、それまでの生徒・保護者・職員アンケートによる「学校評価」、年間6回の「学校協力者会議」での内容、広島県教育委員会実施の基礎・基本定着状況調査結果、全国学力・学習状況調査結果、教職員による教育実践分析資料等を使って策定しております。第1回の試案は平成22年12月に学校長から提示しました。以後、校内はもとより、保護者にもお知らせしてご意見を募り、学校協力者会議においても検討いただき、修正を加えながら、最終的に3月末に4回目の提示で決定しました。

学校教育には「不易」と「流行」があると言われる。ただ単に時の流行についていくのではなく、時代が変わろうと、地域・対象が変わろうと変わることの無い「不易」こそ学校教育の基盤となる部分と考えます。中広中学校は、その「不易」に学力をつけることを置いています。

入学式のお祝いのことばでもお話しましたが、保護者・地域・学校がスクラムを組み、その中心に子どもたちを置いて実践されなければ、成果を残すことは出来ません。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

お知らせ

☆ 「校長談話室」にご来校下さい。

新年度が明けました。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。本年度も学校教育・家庭教育など、子どもたちをめぐる様々な問題・課題について学校長と意見交換したり、勉強したりしませんか。時間はおよそ1時間30分です。原則として、日曜・祝日・土曜日に開催します。参加にあたって事前の予約は不要です。およそ2ヶ月に1回程度で行う予定です。ご都合の良い日に手ぶらで結構です。気軽にご来校下さい。お待ちしております。

第1回は、4月17日（日）14：00～15：30（校長室）です。

（裏面に続く ⇒ ）